

# 令和4年度第2回石巻市地域公共交通活性化協議会

## 会議録

◆日時：令和5年2月6日（月） 午前10時から

◆場所：石巻市防災センター 2階 多目的ホール

### 1. 開会

委員数30名のうち、21名出席のため会議成立

### 2. 会長あいさつ

今日は、前半部分で各地区からあげられてまいりました各案件について、御審議いただき、後半部分で、以前御審議いただいた総合交通計画がどのように進捗しているかということ事務局から報告する予定となっております。

本日も忌憚のない御意見と御審議をお願いいたします。

### 3. 議事内容

#### 協議事項1 稲井地域乗合タクシーの車両変更について（説明：稲井支所）

（質疑応答）

委員 私の方から2点質問があります。

1点目、稲井地域乗合タクシーの車両は石巻市の所有ということでしょうか。

2点目、稲井地区の運行協議会で取りまとめていることかと思いますが、本件に対する地域住民の声はどのように上がっているか教えてください。

事務局 1点目の車両については運行会社の所有となります。

2点目ですが、運行協議会のメンバーが各地区の区長で構成されており、各地区の意見を区長が取りまとめた上、運行協議会へ諮る形となります。

今回、本件を運行協議会へ諮った際には、特段意見はございませんでした。

会長 それは、運行協議会のメンバーに対して、本件について聞いたけれど特に意見はなかったということでしょうか。

事務局 そのとおりです。

各区長には本件について御了承いただいております。

委員 最初の1点目ですが、こちらの車両は、市が補助金を交付して事業者が購入するという形でしょうか。

また、2点目については、公共交通にこういった変化が起こった際に地域住民、特に利用者の声があまり聞かれていない状況も耳にすることがありましたのでお尋ねしたところです。

事務局 車両の購入費は、運行委託契約の経費の中に含まれております。補助金については、経費の総額から収入を差し引いた残りの欠損分に充てているため、一部市の補助が入っております。

なお、利用者の声については過去にアンケートなどを実施した経過があります。

## 協議事項2 雄勝地区住民バス運行計画の変更について（説明：雄勝地域振興課）

（質疑応答）

委員 私の方から2点質問があります。

1つ目、デマンド運行に切り替えたことによって住民から上がった声などはありますでしょうか。

2つ目、デマンドとなると恐らく電話予約になるかと思いますが、聴覚障がい者への対応として、メールやファックスなどで予約することは可能でしょうか。

事務局 1つ目のデマンド運行に切り替えたことによる住民の声については、「電話での予約が面倒」という意見を高齢者の方からよく聞きます。運行協議会では、住民の方には御不便をおかけしているところもあるとは考えておりますが、今後、慣れていただけるよう努めていきたいと考えております。

2つ目の聴覚障がい者への対応については、今まで実績がなかったことから、今後、関係機関と調整の上対応方法を検討してまいりたいと考えております。

委員 只今事務局から説明がありましたが、雄勝地区についてはデマンド運行を開始して2年になります。各地区の声としては大きく2つありまして、「空バスの削減で経費が抑えられて良かった」という声と、もう1つは「利用する前日にタクシー会社へ連絡しなければならず手間だ」という声があります。後者については、新しい利用方法に利用者が慣れるまで時間がかかるためだと考えております。

あと、電話予約については、運行協議会としてまだ考慮すべき点もあるため、皆さまの意見を聞きながら対策を講じていきたいと考えております。

委員 2点目の、聴覚障がい者への対応方法については、是非、今後検討していただきたいと思います。

それから、デマンド運行による地域住民の声ですが、私が現在利用しているバスがデマンド運行に切り替わった場合、どのように予約すれば良いのか大変気になっておりました。ですがやはり、予約をしないと乗れない、何かの時、とっさに利用したい時に利用できず、外出ができないということも考えられましたので、その辺のニーズを救えるような利用者が利用しやすい方法を考えた上、運行の効率化というところでバランスをとって検討いただければいいのかなと思います。

あと、デマンド運行による予約の有無によって通過する部分があるかと思いますが、予約状況によって運行時間に変化があるのか教えていただきたいです。というのは、予約が無ければ通過する場合と、通常どおり運行する場合の時間がそう変わらないのであれば、あえてデマンドにすることもないかと思いますがいかがでしょうか。

事務局 デマンド運行にすることによりまして、先ほど委員からも説明がありました。空バスを削減できるということで経費の削減につながっております。

姥浦道生 運行時刻への影響はいかがでしょうか。

会長

事務局 運行時刻への影響についてですが、基本的に予約制なので、利用者がバス停を指定していただき、その予約していただいた時間にバスがバス停まで運行する形になります。

会長 定期運行とデマンド運行の違いを教えてくださいませんか。

事務局 定期運行であれば予約が無くても必ず決まった経路で全部のバス停を運行しなくてははいけません。デマンド運行ですと、予約の無いバス停は飛ばして直接予約のバス停に向かうシステムになっております。

会長 ですので例えば、資料2の2ページ目を見ますと、荒バス停から道の駅まで、特に予約が無ければそもそも運行しないということよろしいでしょうか。

事務局 予約が無ければそもそも運行しないシステムとなっております。

会長 通常の運行とデマンド運行の違いはそこにありまして、通常であればお客さんが居ようが居まいがとにかく走らなければいけないところ、デマンド運行であればお客さんが居るところまで走るという手法で、もしお客さんが居なければそもそも運行しないこととなり、そこで経費を削減するということができるものです。

委員 デマンド運行はそもそも予約があった時だけ動くということと、予約が無いところは目的地まで通過するということですが、目的地に到着した後、運行事業者は事業所へ帰るという認識で良いでしょうか。

事務局 そのとおりです。

会長 今回は、まさに雄勝地区の住民の方から、予約時間についてあまり便が良くないという意見があり、予約受付時間の延長というのが1つの対応となるので、その辺りを少しずつ改善しながら委員もおっしゃった利便性の確保ということと、運行の効率化に向けたバランスをどこでとることかということも少しずつ実験しながら探っていらっしゃることかと思えます。

委員 協議事項1の部分ですと利用便数の説明等がありましたが、せっかくの機会ですので、令和4年4月から12月までの利用者数などを教えてください。

会長 もし分かれば、デマンドに切り替えたことにより、運行しなかった日数についても教えてください。分からなければ結構です。

事務局 運行しなかった日数については把握しておりません。

利用人数についてですが、4月は754人、5月は748人、6月は814人、7月は633人、8月は556人、9月は884人、10月は892人、11月は757人、12月754人 以上となります。

**協議事項3 桃生イオンモール石巻線の実証運行について（説明：桃生地域振興課）**

**協議事項4 桃生ワンコインタクシーの実証運行について（説明：桃生地域振興課）**  
**（質疑応答）**

委員 桃生地区でも高齢化や過疎化が進行するにつれ、住民バスの利用者が少ないところで今回の提案をいただいたと理解しております。

私からは、まず1つ目として、上品の郷に行く路線がなくなるということですが、上品の郷まで行くための他の移動手段はあるのでしょうか。上品の郷に行きたいという人がいた場合、どのような方法があるのか教えてください。

それから2点目として、桃生地区内の路線については、今回のワンコイン導入と同時に廃止になるという認識でよろしいでしょうか。

事務局 1つ目の上品の郷へ向かう移動手段についてですが、桃生イオンモール線についてはフリー乗降区間となっているため、経路上であれば乗降自由となります。一番近い場所で降りて歩いていただければ上品の郷まで行くことは可能です。

2つ目の質問については、委員おっしゃるとおり区内はすべて廃止となります。

委員 上品の郷へは歩いて行けるということですが、どれくらいかかるもの  
でしょうか。

また、地区内のバスはすべて廃止ということですが、ワンコインタク  
シーの導入と合せて、ニーズが本当に無いのか教えてください。今まで  
の地区内住民バスの利用状況も合せて御説明願います。

事務局 上品の郷へは歩いて概ね 10 分くらいの距離となっております。

ワンコインタクシーのニーズについてですが、今まで 2 つの路線があ  
り、それぞれ週 2 日で 1 日 2 便、併せて 8 便運行していましたが、令  
和 3 年度の実績で 175 人、令和 4 年年度は 12 月までで 193 人とかなり  
少ない状況となっております。

このような状況を改善するため、今回ワンコインタクシーを導入する  
ものです。

委員 私から意見として、桃生地区から市内中心部に移動する足が確保でき  
るということは大いに賛同いたします。

今回は実証運行ということなので、住民の声をしっかり聞いて、効率  
化と利便性、どちらも一緒に考えていただければと思います。

委員 3 つほど質問いたします。

まず初めに、桃生イオンモール石巻線の実証運行についてですが、現  
在上品の郷を廃止するのに当たって乗客数を把握していると思います  
が、このルートを申請するに当たり、上品の郷を残してイオンモールま  
で延伸するという方法は無かったのでしょうか。

それから、ワンコインタクシーについて、かなり興味深いですが、桃  
生地区内をすべてカバーするということですが、例えば町内で 1 番距離  
のあるところで何キロくらいあるのでしょうか。

あと、実証運行ということですが、今まで住民バスを運行していた予  
算とこのワンコインタクシーを導入した際の想定される予算はどれほ  
どなのか分ければ教えてください。

事務局 1 つ目の質問については、ミヤコーバスとの路線重複を避け、直接イ  
オンモールへ行く方法となりました。

2 つ目についてですが、ワンコインタクシーは町内であれば距離に関  
係なく一律 500 円になります。1 番距離があるところとしては、山田地  
区があげられます。通常のタクシー運賃だと 4,000 円から 5,000 円かか  
りますが、そちらの地区についても一律 500 円となります。

3 つ目の予算について、ワンコインタクシー年間の稼働回数は町内の  
タクシー会社より提供のあった 1 年間の最大運行回数を見込んでおり  
ます。通常運賃のタクシーで桃生総合支所を起点として近隣の病院など  
へ移動すると概ね 2,000 円かかることを考慮し、計算すると現委託料よ  
り約 100 万円以上支出が減る見込みとなっております。

- 委員 今の予算規模を聞くとかなり低額に抑えられるのかと思いますが、是非ともこの実証実験の数字を教えてください。できることならほかの地区にも拡大していただくと大変ありがたいと思います。500円で5,000円分乗れるということで夢もあるのでよろしくお願いします。
- 事務局 本件については半年後に利用状況を分析しながら、必要に応じて見直しを行います。
- 委員 今まで地区内の住民バスについては非常に収支率が悪かったと思います。今回実証運行を行うことによる収支率をどのように想定しているか教えてください。
- また、運行日について月・水・金となっており、河南地区乗合タクシーでも週2日という制約があります。最低の基本サービスで行く場合、今回は3日ですので市の補助の他に地区住民の世帯から運行協力金をいただいていると思いますので、その運行協力金がどのくらいなのか教えてください。
- それから、市では総経費の8割を収支の目安と決めていたと思いますが今回改正でどのくらいの収支を見込んでいるのでしょうか。
- 加えて、佳景山タクシーと桃生交通2社あるようですがその2社の何台を稼働させるのか教えてください。同時に予約が重なった際の対応方法も教えてください。
- 事務局 予算的な部分としては、先ほどのとおり従前より100万円ほど少なくなる見込みです。
- また、負担金については、今まで桃生地区において52行政地区から1,000円ずつ負担いただいております。次年度以降の協力金については、1世帯あたり100円からスタートすることで運行協議会の了承を得ました。
- ワンコインタクシーの収支率については、利用されれば利用されるほど市の負担割合が増えるため、今段階で見込むことは難しいですが、支出額については、今までより確実に減少する想定となっております。
- 会長 具体的な金額を教えてくださいませんか。
- 事務局 今までの委託料ですと、令和3年度で530万円近くだったところ、今回のワンコインについては400万円弱となりますので、100万円弱の支出減となる見込みです。
- 会長 利用者が払う金額はどれくらいになるのでしょうか。

事務局 利用者が払う金額については年間最大で 128 万円を見込んでおります。

世帯負担金は概ね 20 万円弱となります。

会長 確認になりますが、収入としては利用者から 1 乗車当たり 500 円で年間 128 万円、協力金として 1 世帯あたりから 20 万円弱、市の補助金が 400 万円近くとなり、全体経費としては 550 万円になるということでしょうか。

もともとは、市の補助金支出額が 530 万円だったところ、それと比べると市の負担額が 100 万円近く減少しているという理解でよろしいですか。

事務局 そのとおりです。

運行車両については、各社で 2 台ずつ保有しているので計 4 台となり、予約が重複し配車できない場合は、通常タクシーと同様にお待ちいただくこととなります。

委員 私の地区でも乗合タクシーをやっておりますが、乗れば乗るほど市の負担額が増えるものとなっております。ワンコインタクシーについては、月・水・金と週 3 日運行することとなるので、収支率もかなり厳しくなってくるのではないかなと思います。本取組については私も非常に関心を持っておりますのでよろしくお願いいたします。

会長 今いただいた意見については、半年後や 1 年後の見直しの際に報告いただきたいと思います。

委員 子育て家庭の孤立というのが大きな課題となっている中で地域の子育て支援センターの利用は子育ての負担の軽減につながりますが、実際に車の無い方や、主に御主人の車で送迎される方などは、なかなか支援センターにも行けないので、たまにタクシーを利用される方もいます。ですので、もう少し気軽に利用できるタクシーがあれば利用したいという方もいますので、子育て支援の取組の一環としてタクシーチケットを発行しています。移動の問題は子育てや子どもの習い事などの機会提供に直結するため、そこに移動支援を入れていただきたい一方で、お金をどこにかけるかという問題もあるのかなと思います。市が一部を負担しつつも何を大事にするかなどを検討する際に、子育ての視点も追加していただくことで、移住施策や若い世代の流出防止にもつながってくる部分があるかと思うので、実証の中にそういった視点も入れて、利用促進してみても効果を検証していただければと思います。

事務局 当方で地域交通施策を進めるに当たりまして、高齢者対策として保健福祉部と協議を進めておりますが、子育ての視点も重要な施策と考えておりますので担当部と協議しながら進めていきたいと考えております。

委員 桃生地区に視覚障がいのある方がいるのですが、その方から住民バスは貴重な移動手段だと伺っております。ですので、障がいのある方や御高齢の方に対しても利便性の高い公共交通の検討をよろしく申し上げます。

また、そもそも、桃生地区に住民バスが走っているということを知らない住民が非常に多いということで、もう少しバスに関する情報発信等を積極的に行っていただきたいという要望もありますのでこちらもよろしく申し上げます。

私の在住する地区の住民バスについても、以前、3月末になって突然ダイヤ改正を行う旨通知され、その際、何か月も移動に支障をきたすこととなったことがありました。ですので、大きな変更などがある際には、障がい者団体や地域住民の方にしっかり説明していただければと思います。

事務局 桃生地区には、地区独自の「かわら版」がありますので、こちらに掲載するほか、早い段階で個別にチラシ配布を行いたいと考えております。

会長 1番最初に出されました障がいのある方のお話と、1つ前に出された子育て世代の方のお話もありますので、半年後と1年後に事務局から報告する際にも、それらの要素を含めて報告願います。

会長 私の方から1点、終点が上品の郷ではなくイオンモール石巻に変更となる旨理解しましたが、上品の郷で乗り換えていただき、ミヤコーバスの利用も促進するという考えもあったかと思えます。桃生地区住民の利便性が向上する一方で、ほかの地区で想定される影響など、わかる範囲で教えてください。

事務局 こちらの案については、ミヤコーバスとも調整の上、今まで上品の郷止まりだった3便をイオンモール石巻まで延伸するという事で御理解いただいております。ほかの地区についても、総合交通計画内で朝の便は乗り継ぎなしで市街地へ直行する便を追加するよう見直しを行う旨記載しており、今後そのような方向性で再編を進めていきますが、その他の便については、結節点に設定している上品の郷を中心に運行したいと考えております。

会長 そのあたりのバランス調整は難しいと思えますので、地区の話と全体の話でバランスを見ながら進めていただければと思います。



## 報告事項 総合交通計画に基づく施策の進捗について（説明：本庁地域振興課）

（質疑応答）

委員 老人クラブでは免許返納者が増えており、移動の足が無いと、いろいろな行事に参加するのに大変苦労します。そのため、免許証を持っている方の車に乗り合いで行くことがよくあります。震災後に老人クラブの全国大会で富山県に行った際、講演会で富山市長がおっしゃっていましたが、高齢者に対する割引制度が充実しており、交通機関を利用するにしても様々な割引があって便利など感ずてきましたが石巻でもそういった取組が早めに広がると良いと思います。高齢者には一人暮らしの方が多く、年金暮らしのため日々生活するにしても大変です。私も以前、具合が悪くなり、タクシーを呼んで病院に向かった際に往復8,000円かかり、非常に大きい出費でした。安い年金暮らしの高齢者にはこういったことが多々発生し得ることもありますので割引制度などがあると大変助かります。

事務局 只今の意見については、ほかの場でもよくお聞きする御意見でして、高齢者に対する交通の補助等については、当方も非常に重要な施策と考えております。担当となる保健福祉部とも先日会議をしたばかりですが、今後どのような支援ができるのかについては、随時検討を進めていきたいと考えております。

委員 北上地区住民バスの延伸についてですが、通院される方にとって乗り継ぎは非常に不便です。令和4年4月のダイヤ改正により、通院に使っていた便の出発時間が少し早まったことで、通院に利用しにくくなってしまったという地域意見もありますので、時間の調整についても地域住民の声をよく聞いた上、導入していただければと思います。

是非、今回見直しで、市街地部へのアクセスを向上していただければと思います。

事務局 再編案については、まだ関係課と調整を行っている段階ではありますが、今の御意見を参考にさせていただきながら検討を進めたいと思います。

## 4. その他

特になし。

## 5. 閉会

以上